

二〇二二年五月二八日

並々と古茶をピカソのマグカップ	なつき
国境の大河越えゆく揚羽蝶	素 秀
雨意兆す溪の若葉のざわめきて	はく子
農家カフェ食後に庭のハンモック	かかし
無住寺の墓石を縫ひて夏の蝶	なつき
沢登り岩肌撫づる谷若葉	愛 正
茅花みな呆けて海へ靡きけり	こすもす
翼翳す如く若葉や棕大樹	なつき
海の橋宙に浮かべて夏霞	わかば
亀池へ枝翳しをる花檣	ぼんこ
外出より我が家がよろし新茶汲む	たか子
母の日の似顔絵の口紅赤し	なつき
弔いの煙ひとすぢ若葉冷	む べ

毎週句会秀句・みのる選・二〇二二年五月二九日